

## 子どもの権利



**宮代** 子どもの権利条例制定までたくさん委員会を開催し、アンケートも実施。特に子どもの意見も数多く聞き、丁寧な作りこみをして制定に至ったが、実行が大切。子どもの最善の利益を優先し、全ての子どもが幸せになることを強く望む。本条例の浸透のため、学校での取組を伺う。また、家庭のしつけや学校のルールが子どもの権利を守ることに矛盾する可能性があるという考えへの見解を伺う。

**市長** 保護者や学校関係者は、子どもの最善の利益を常に第一に心がけて、子どもの声を聞くことが大切。

**教育長** 児童生徒にはニュースレターを配布。学習者用コンピューターで閲覧。校長には全校朝礼で触れるよう指示。今後、関連した単元の授業で触れるよう促した。先生自身も理解を深めるため、研修を開催。保護者へは学校便りや保護者会で周知。校則は校長が制定するが、令和4年に改定された生徒指導要領では児童生徒の関与や意見を聞くことが新たに示された。

**宮代** 子どもの権利が守られるよう、大人がアンガーマネジメントやコミュニケーションスキルを身につける必要がある。市できっかけをつくり、市民が子どもの権利や人間同士の権利を守っていける市になってほしい。心がけるだけでなく、具体的な思いは？

**市長** 様々な気づきや学びの場を市としても提供し、大人も子どもも条例の思いや趣旨、本質を一人一人が理解できるような取組をこつこつと続けて理解を深めていきたい。

**教育長** 教育委員会は一律な提案をするのではなく、先生たちは専門家集団なので、目的を示せば各校で具体的に実施し、実現に向けて努めていくことができる。推移を見極め、必要に応じ、さらに取り組んでいきたい。

**宮代** 教育長に「きちんと目を光らせ、必要があることには提案する」と言ってもらい、そこはすごく大切だと感じている。

## 安全・安心のまちづくり

**宮代** つきまとい勧誘行為の防止・路上宣伝行為の適正化に関する条例が改正強化され、特定地区も見直された。ブルーキャップ活動時間を延長。ミッドナイトパトロール隊も安全パトロールに加えて、客引き行為への指導ができるよう制度を変更。体制を強化したが、今のやり方では実効性がないのではという意見が地域住民から出ている。条例改正後の実績、特定地区の範囲の見直し、実効性、罰金過料、ブルーキャップとミッドナイトパトロールの現状と課題、人員の強化について見解を伺う。

**市長** 客引き行為、スカウト行為、客待ち行為を新たに禁止行為として追加した効果はあったと考える。過料を科さずとも、本条例に基づく警告等の運用で効果が上がると認識。指導、警告、勧告に該当する行為を現認できた場合は、見過ごさず、適切に処置を行い、粘り強く注意をする。曜日や時間帯の人数配分の現在の体制や制度の中で最善を尽くし、その上で改善しない場合は、必要に応じて隊員の人数増加について検討を行う。

**宮代** 隊員たちは現地で適切なアプローチをしてくれているが、いたちごっこ、いなくなったら湧いてくることを繰り返し。また、吉祥寺南口から始まったので、北口側、いわゆるヨドバシ裏が手薄なのではという意見や不安も地元住民から出ている。隊員と直接話すと「条例について説明することしかできず、それ以上の権限がない」という意見も聞く。現場の声も知った上で、これからも協議を続けてほしい。ブルーキャップをやっているからもう大丈夫ではなく、関わっているみんながそれぞれの立場で進んでいくことが非常に重要だと思う。私たちもがんばるので、地元の市民にとって安全・安心のまちづくりを実現してほしいと思う。



\* 紙面の都合上、ごく一部しかご紹介できず、とても残念です。武蔵野市議会ホームページでは会議録を掲載してあります。また、インターネットでのライブ中継と録画放送もごさいます。そちらもご覧いただき、ぜひ、皆さまの声をお聞かせください。